

令和6年度 関東支部会開催される

関東圏在住の卒業生が一堂に会し、親睦を深める関東支部会は、今年で13回を数える。

6月8日午後2時から東京恵比寿で開催された支部懇親会には4月に着任された飯田龍太郎校長をはじめ同窓会の役員8名が駆けつけた。

これまで支部会の立ち上げから今日まで会の運営を牽引してきた4回生の青鹿政幸さんが後輩に道を譲るため支部長を退き相談役に回った。

新しく支部長に就いた26回生の原田良則さんは、自己紹介を兼ね支部会の活性化に務めていきたいと抱負を語った。

続いて挨拶に立った飯田校長は、小子化などにより学年5クラスとなった現在の学校生活の様子や進学率の高さなど進路状況を話された。まわりからはベビーブームだった自分達の島工時代とは、隔世の感があると、聞き入っていた。



八木同窓会長からは、同窓会唯一の支部として継続できるよう協力していきたいと語った。

あいさつや役員の紹介が終わると懇親を深める場となった。

しばらくすると会場のスクリーンに同窓会のこれまでの足跡を紹介するDVD「あゆみ」の映像が流された。



鑑賞後は、出席者による1分間スピーチへと進み日常生活の一端を垣間見るようなエピソードに各々が歩んできた道のりを感じとる時間となった。

司会者から、来年の予定が告知されると卒業年度は違えど、来年また元気でお会いしましょうと、誓い合い散会となった。